～宮大生のための交換留学～

韓国・国立順天大学　交換留学報告

地域資源創成学部・研究科　地域資源創成学科・課程・専攻　３年　（阿部さん）

〇留学先：韓国　順天市　国立順天大学

〇留学期間：25 年 9 月～ 25 年 12 月

〇渡航時の学年：　３年次

〇渡日前の手続について

・留学に至った経緯について：

もともと海外や留学に興味があって、国際連携課を訪れてみて、そこで留学フェアを紹介していただいて、そのイベントに行ったことが始まりです。

韓国を選んだのは、第二外国語で韓国語を選択し、勉強したことがあり興味があったためです。

・大学での手続について：

【提出したもの】

ノミネーションリスト

留学計画書

宮崎大学交換留学申請書

派遣志願書

交換留学生対象奨学金【給付型】の書類

学研災付帯海外留学保険の書類

レベル分けテスト

アポスティーユの申請

・査証取得：

申請先：駐福岡大韓民国総領事館（福岡市）

申請時期：7 月中旬

受け取り：8 月上旬

必要書類：査証発給申請書、パスポート、顔写真、住民票、標準入学許可書

〇留学体験記：

渡航費用：50,000 円【往復航空券】

生活費

寮・食堂利用：170,000 円

外食（カフェ等含む）：160,000 円

交通費：8,000 円（地元バス）54,000 円（高速バスや KTX 等）

日用品/雑費：10,000 円(洗濯は一回 700 ウォン)

通信費（SIM）：10,000 円

学校関連費（教材など）：10,000 円

娯楽費：100,000 円

寮の環境

玄関ではカードキーで入り、自分の部屋では暗証番号を打って入ることができる。
部屋に入るとまず、共用のリビングルームがあり、そこから 3 つの部屋に分かれている。
各部屋二人部屋で、大体同じ国籍・大学の人が固まっていた印象。
部屋は二段ベットと机、クローゼットがあった。
そして 6 人共用の洗面所とトイレ、シャワー室があった。
各部屋には冷暖房、共用のリビングルームには床暖房があり、快適に過ごすことができる。
Wifi も設置されてあった。
洗濯機・乾燥機は一階に4台設置してあった。(一回700ウォン)
食堂も寮のすぐそばにあり、カードキーをかざすだけで簡単にご飯を食べることができた。
毎日メニューが異なり、バイキング形式であった。





【写真】 玄関入り口/部屋/寮の食堂の夜ご飯

大学の環境

大学内の環境は非常にきれいであった。
印象的なのは大学内にカフェやコンビニが複数あったことで便利の良い環境であった。
夜も明かりがあり、運動場にはいつも運動する大学生から高齢者までたくさんのひとがいた。
講義棟の名前が A1、E2 のように振り分けられているので、わかりやすかった。

授業内容

私が受講した授業は韓国語と写真学科のロケーションフォトという授業であった。
韓国語の授業は発音やハングルの読み方から始まり、徐々に文法や会話形式の練習が始まっていった。授業では簡単な韓国語や英語を使いながら進められた。
写真学科の授業では、ほぼ韓国語で行われた。他の留学生も 6 人いたが、韓国人の学生の補助（翻訳や説明など）を受けながら、行われた。バスで島に行き撮影をしたり、学生同士でモデルになったりして写真を撮る授業スタイルであった。
他の交換留学生に話を聞くと、韓国語のほかにも英語や日本語、中国語、体育、ピアノの授業を取っているなど、それぞれの人の専攻に合わせた柔軟な授業選択ができるようだった。

学生の様子

落ち着いていて勉強熱心な学生が多かった。
寮が大学敷地内にあり、寮に住む人も多いため、授業前後の時間は非常に人が多かった。
留学生は中国、モンゴル、インドネシア、台湾の人と関わることが多かった。

生活環境

生活環境に関して不便な点は無かった。
寮は非常に快適に過ごすことができ、大学の前には飲食店などが広がっていて、十分に楽しむことができた。また交通網の発達や、バスやタクシーなど日本よりも安い値段で利用することができ、便利であった。無料で借りられる自転車もあった。

ただ寮の食堂は朝・昼・夜で区切られ 1 時間 30 分ほどしか無いため、その時間内に行かなければならなかった。
土日はソウルや釜山、近場の都市など電車やバスを利用して友人らと遊びに行ったりした。
参考に【ソウル片道 3500 円 3.5~4 時間 / 釜山片道 2500 円 3 時間（程度）】

学んだことやついた力

相手が何を言おうとしているのか推測する力がついたと感じる。
また全てを聞き取ることができなくても、推測して何を伝えたいのか考えることで自然とコミュニケーション力も高まったと感じる。お互いの国の文化を知ったり理解することは非常に面白く素直に楽しい経験になった。
留学中、何かやらなくちゃという気持ちとだけど何もやってない自分があって自己嫌悪のような時期があったが、先生への相談やそのときの心情をパソコンに打ってみたりすることで一旦自分の気持ちを整理して、小さいことから続けてコツコツと成長を実感できるようになった。この経験はこれからも何か頭がパンクしたり、どうしたら良いか分からなくなったりしたときにも生かせると感じた。
また自主性が今回の留学で高まったように感じる。留学に来たからには、語学力を伸ばそうとたくさんの人と話したり、遊びに誘ったり、イベントには積極的に参加するようにしていた。
これからはこの留学で身につけた力や学んだことを活かし生活していくとともに、語学力の向上もさらに目指したいと思う。

〇帰国後について

・派遣先で単位を取得しましたか？→しました
・派遣先で取得した単位は宮崎大学で認定されましたか？→されませんでした

〇今後、留学を希望する宮大生のみなさんへ

私は少し計画を立てたりするのが遅かったかなと感じています。何事も行動するのは早いほうが絶対良いと思います。寮の朝の洗面所はぼーとしてると、どんどん先越されてました泣
また自分の意思を持って行動したりすることは、結果がどうであれ自分の自信につながるし、自己肯定感も上がると思います。ぜひ自分の気持ちに素直に従ってチャレンジしたら良いと思いますし、自分もそうしようと思います。
異文化を感じながら、たくさんの友人ができ、楽しい良い経験ができた。
次はその友人らの国を訪れてみたい。



ソウル景福宮で韓服



順天湾湿地/



最後に留学生皆で撮影